



株式会社 ヤマックス

(写真：菊池溪谷)

62

第62期 報告書

YAMAX
BUSINESS REPORT

(写真左：北里柴三郎記念館、写真右：球磨川下り)

2024年4月1日～2025年3月31日

証券コード：5285



To Our Shareholders

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私たちヤマックスグループは、創業以来、「技術」と「品質」をもってお客様のニーズに応え、豊かな社会の発展に貢献することを使命と考えてまいりました。地球規模で人と環境の問題がクローズアップされる今こそ、グローバルな視点から災害や自然への対応を考えなければならない時だと思っております。

これまで、そしてこれからも「人と環境の最適な調和」を念頭に皆様に信頼される業界のリーディングカンパニーとして、新たな成長を目指して前進してまいりますので、株主の皆様の引き続きの、また倍旧のご支援、ご指導を謹んでお願い申し上げます。

それではここに、当連結会計年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の当社グループの経営成績等につきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長 茂森 拓

2025年6月

経営成績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、堅調な企業業績や雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加により、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、物価上昇による実質賃金の減少、ウクライナ・中東の地政学的リスクや原材料・エネルギー価格の上昇、米国の関税問題、金利・為替の変動など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、国土交通省の2024年度当初予算は前年度と同水準にて決定され、建設業の2024年問題に対し有効活用が期待されているプレキャスト工法（工場で製造したコンクリート製品を現場にて施工する工法）の推進も活発な動きとなりました。また、前年度比17.0%増となった防衛省の2024年度当初予算を背景に、九州・沖縄方面を始め当社の事業エリアである関東・東北地区でも防衛省関連事業が期待される状況下で推移いたしました。そのほか、当社の本店所在地である熊本県内では、半導体関連産業の集積に伴う産業用地の整備や周辺道路の交通渋滞改善に向けた道路整備などの公

共事業投資に加え、関連産業の工場建設や住宅供給などの民間設備投資も多くの計画が進んでおります。

このような状況のもと、当社グループは、建設業界の人手不足や働き方改革に対応できるプレキャスト工法の需要増を見据えて製品供給体制の強化を図るとともに、新設した品質保証室を中心に技術本部や製造部門と連携し、顧客が求める高品質へのニーズにも応えるべく取り組んでまいりました。また、雇用・所得環境の改善を目的とした賃金の上昇に加え、物価上昇圧力による原材料並びに資材・経費の価格上昇や高止まりも継続し、これらに伴うコストアップへの対処として、利益率の改善や販売価格への転嫁にも注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は234億6千9百万円（前年同期比12.8%増）、営業利益は27億3千8百万円（同50.1%増）、経常利益は27億3千3百万円（同49.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は19億6千9百万円（同51.8%増）となりました。

対処すべき課題

今後の当社グループを取り巻く経営環境につきましては、国土交通省の2025年度当初予算が前年度と同水準にて決定され、「国民の安全・安心の確保」を始めとする基本方針の実現を図るべく「公共事業の適格な推進」が掲げられており、建設業界の人手不足や生産性の向上に対し有効活用が期待されているプレキャスト工法の推進も活発になると予測されます。また、防衛省の2025年度当初予算は前年度比9.7%増となっており、九州・沖縄方面をはじめ当社の事業エリアである関東・東北地区でも防衛省関連事業がこれまで以上に期待される状況となっております。さらに、埼玉県八潮市での道路陥没事故でも注目された老朽化した下水道施設の整備なども、今後重要な社会課題になると推測されております。そのほか、当社の本店所在地である熊本県内では、半導体関連産業の集積に伴う産業用地の整備や周辺道路の交通渋滞改善に向けた道路整備などの公共事業投資も多く計画されております。

このような経営環境を踏まえ、当社グループは、建設業界の人手不足や働き方改革に対応できるプレキャスト工法の需要増を見据えて営業体制及び製品供給体制の強化を推進するとともに、需要の増加が見込まれる防衛省関連事業に対応する「防衛チーム」を組織化し、全事業エリアにチームメンバーを配置することで確度高い情報収集を行い、技術本部や製造部門と連携し、高い設計力や高品質な製品など求められるニーズにも応えるべく、全社を挙げて注力してまいります。また、雇用・所得環境の改善を目的とした賃金の上昇に加え、物価上昇圧力による原材料並びに資材・経費の価格上昇や高止まりも継続されることが予想されることから、これらに伴うコストアップへの対処として、利益率の改善や販売価格への転嫁にも取り組んでまいります。

そのような中、土木用セメント製品事業におきましては、大型コンクリート構造物のプレキャスト化の普及拡大を推進すべく、継続的かつ意欲的な営業活動に努め、国や各地方自治体の防災・減災、国土強靱

化の動きにも適宜対応してまいります。また、南九州地区での営業拠点となる「南九州営業部」を宮崎県に新設し、営業エリアの拡大にも注力してまいります。さらに、自社製造品の売上割合増加による利益率の改善を目指し、営業・工場の連携をより一層深め、製品供給体制の強化を図るとともに、製造の効率化と利益率向上にも引き続き取り組んでまいります。

建築用セメント製品事業におきましては、建設現場における人手不足の常態化や働き方改革による4週8休などが浸透しつつある中、これらに対応できる建築用コンクリート製品の強みを活かしてまいります。また、品質の更なる向上によりクレームゼロを達成する生産体制の確立や、安定的な受注の確保による工場生産量の平準化を徹底し、労務費上昇や資材価格高騰などによるコストアップを吸収すべく原価低減を図ってまいります。

不動産関連事業におきましては、物価高や金利上昇並びに半導体工場周辺における地価高騰など、住宅の購買意欲に懸念材料がみられる厳しい環境の中、同業他社との差別化を図れる商品の構築や広告宣伝活動と紹介活動の強化、安定的な自社分譲地の仕入れ及び販売の促進に注力してまいります。また、住宅価格や住宅ローン金利の上昇などにより、新築から既存住宅のリフォームや中古住宅の購入へシフトする動きへ対応するため、リフォーム市場へも積極的に取り組んでまいります。



ヤマックスを支える3つの柱

ヤマックスは、「人と環境の最適な調和」をモットーにインフラ整備から住まいづくりまで、常にあなたのそばに存在しています。



土木用セメント製品事業

私たちの社会を支えつづける
土木用コンクリート二次製品

道路の側溝や下水道、トンネルから橋まで。ボックスカルバートを始め、あらゆる土木用のコンクリート二次製品の製造・販売を行っています。

豊かな社会を支える当事業は、近年の自然災害への対応や、自然との調和、循環型社会への転換など、常に時代のニーズに応える製品を生み出し、人々が暮らしやすい生活環境を実現しています。

建築用セメント製品事業

省資源・省力化に貢献する
建築用コンクリート二次製品

ビルやマンションの床・梁・柱・バルコニー・階段や、戸建て住宅の壁・床など、建築用のコンクリート二次製品の製造・販売を行っています。

大都市圏での需要が目覚しい当事業は、建築現場での木製型枠削減による森林資源の保護や、工期短縮による環境負荷低減など、自然にやさしい建築工法を実現しています。

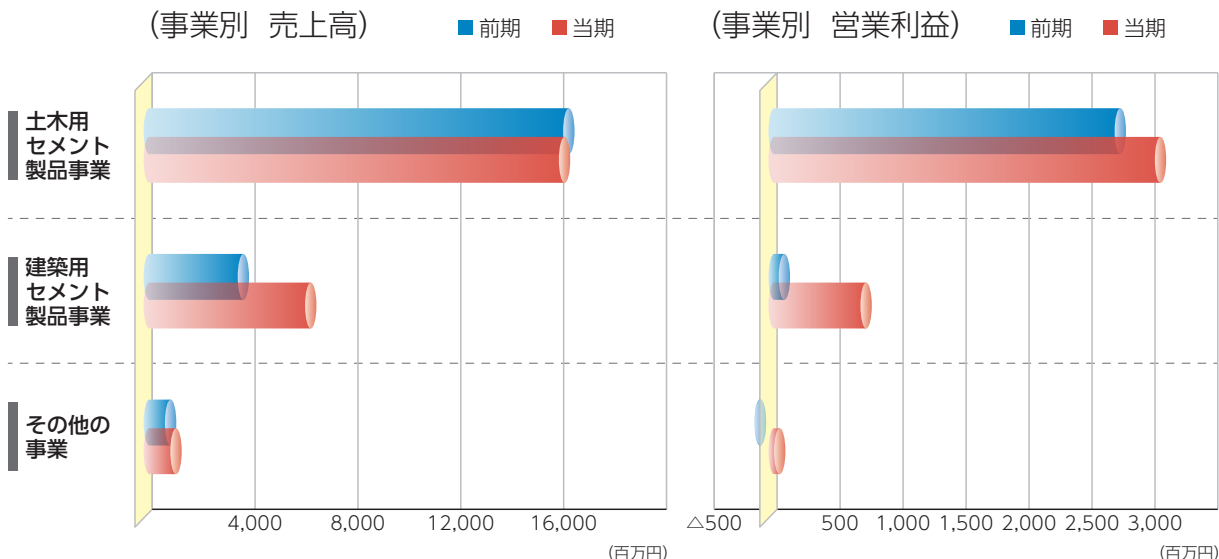
ハウジング事業

一年中快適な「心地いい家」を目指す
戸建木造住宅

四季を肌で感じられるのは素敵なことですが、「あつい」「さむい」が度を過ぎると少々うんざりします。ヤマックスの家づくりはそんな「うんざり」を「心地いい」に変える家づくりをコンセプトに、戸建木造住宅の販売・施工を行っています。都市づくりで培ったノウハウを活かし、世界に一つだけの、家族にやさしい家づくりを目指します。

Business Overview

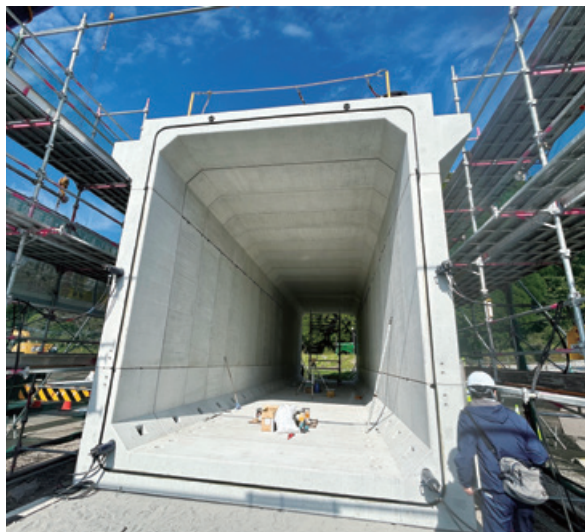
事業別の概況



土木用セメント製品事業

当連結会計年度におきましては、大型コンクリート構造物のプレキャスト化の普及拡大を推進すべく、継続的かつ意欲的な営業活動に努め、国や各地方自治体の防災・減災などの国土強靱化の動きや防衛関連施設の工事にも適宜対応してまいりました。また、自社製造品の売上割合増加による利益率の改善を目指し、営業・工場の連携をより一層深め、製品供給体制の強化を図るとともに、製造の効率化と利益率向上に注力いたしました。

この結果、売上高は161億4千9百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は30億4千4百万円（同11.7%増）となりました。



Business Overview

事業別の概況

建築用セメント製品事業

当連結会計年度におきましては、建設現場における人手不足の常態化や働き方改革による4週8休などが浸透しつつある中、これらに対応できる建築用コンクリート製品の強みを活かしながら、回復基調にある民間建設投資の動きに臨機応変に対応してまいりました。また、原価高騰前の受注物件が一巡し、販売価格が適正価格に戻りつつある中、安定的な受注の確保による工場生産量の平準化を徹底し、労務費上昇や資材価格高騰などによるコストアップを吸収すべく原価低減に注力いたしました。

この結果、売上高は62億8千万円（前年同期比71.6%増）、営業利益は7億7百万円（同1,111.5%増）となりました。



その他の事業

当連結会計年度におきましては、物価高や金利上昇並びに半導体工場周辺における地価高騰など、住宅の購買意欲に懸念材料もみられる中、環境の激しい変化に柔軟に対応するとともに、自社分譲地の開発や販売を促進してまいりました。また、主な集客拠点である総合住宅展示場及び複数展開する建売モデルハウスへ効率的に誘導するなどインサイドセールスにも注力いたしました。

この結果、売上高は10億4千万円（前年同期比25.2%増）、営業利益は2千1百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。



当社の新技術が「熊本県工業大賞」を受賞しました

2025年5月、ヤマックスは独自開発した新工法で、一般社団法人熊本県工業連合会が主催する「第27回熊本県工業大賞」を受賞しました。今回受賞したテーマは「大型プレキャストコンクリート構造物における部材接合技術（圧着式接合法）の開発」で、受賞理由として「様々な実験により耐久性や安全性等が学術的に検証されている」「地震への対応も考慮されていて、高速道路など既に実績がある」「作業人員の削減や大幅な工期短縮が図れる」と高く評価され、建設業界が活況な熊本においても非常に有益な技術であると認めていただくことができ、また、熊本産業展示場「グランメッセ熊本」や「熊本県庁」で技術展示も行われ、多くの皆さまにご覧いただくこともできました。本工法は既に国土交通省の発注工事でも採用されていて、今後も高規格道路などの立体交差部に多く活用されることが期待されます。

今後も様々な製品、工法の研究開発を通じて自然災害や人材不足等の社会課題解決に向けて精進してまいります。（詳しくは当社ホームページをご覧ください）



第2回株主さま向け工場見学会を開催しました

2024年10月、埼玉県羽生市のヤマックス埼玉工場（埼玉県羽生市弥勒1136番地1）にて、2回目となる株主さま向け工場見学会を開催しました。

今回は関東圏での開催ということもあり、前回の熊本県での開催を上回る多くの株主さまからご応募をいただきました。当日は埼玉工場の概要や製造方法について説明を行ったあと、工場を実際に巡回し、工場設備や製造方法について工場長より時折説明を交えながらの見学会となりました。コンクリート二次製品の製造工場としては全国でも数少ない「製造ロボット」による製造工程を見ていただくことができましたし、製造している製品が実際どのようなものなのか、また工場で働く従業員の様子を見ていただく良い機会となりました。工場見学後の昼食会では非常に多くのご質問を頂戴し、株主さまとのコミュニケーションの場としても非常に有意義な見学会となりました。

2025年10月には3回目となる工場見学会をヤマックス長洲工場（熊本県玉名郡長洲町名石浜1番地）で開催する予定としていますので、皆さまのご応募をお待ちしております。



人吉工場の事務所を建て替えました

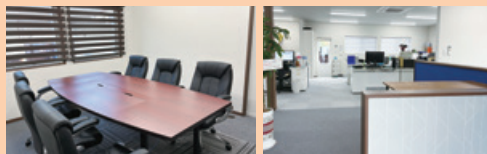
2024年10月、人吉工場の事務所を建て替えました。旧事務所は、老朽化に伴う設備の不具合や人員増に伴うスペースの不足感、また、2020年7月の人吉・球磨地域での豪雨災害で一部が被災したこともあって、復興のシンボリック役割も担えればとの思いも込めて、新しい事務所を建てることとしました。これもひとえに、株主さまをはじめとするステークホルダーの方々のご支援ご協力があったこそ、このような設備投資ができたものと従業員一同感謝しております。

建築にあたっては当社のハウジング事業部門が担当し、特徴として、水色を基調とした外壁にコーポレートカラーである赤を効果的にあしらうことでヤマックスらしさを演出、室内は最新の換気システムを採用することで過ごしやすさにも配慮しています。新しい事務所になったことで、作業環境の改善や作業スペースの確保、作業効率を高める動線配置など業務効率アップも大いに期待できます。

今後も熊本県南部、人吉・球磨地区の拠点として、今まで以上に積極的な事業活動に邁進してまいります。



旧事務所



新事務所

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第61期 2024年3月31日現在	第62期 2025年3月31日現在
◇資産の部		
流動資産	11,850,885	11,116,994
固定資産	6,769,193	6,822,835
有形固定資産	5,681,350	5,714,064
無形固定資産	123,129	120,314
投資その他の資産	964,713	988,455
資産合計	18,620,078	17,939,829
◇負債の部		
流動負債	10,045,482	8,023,484
固定負債	1,582,735	1,293,747
負債合計	11,628,218	9,317,232
◇純資産の部		
株主資本	6,893,193	8,475,843
その他の包括利益累計額	103,547	152,803
非支配株主持分	△4,880	△6,050
純資産合計	6,991,860	8,622,596
負債・純資産合計	18,620,078	17,939,829

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	第61期 2023年4月1日～ 2024年3月31日	第62期 2024年4月1日～ 2025年3月31日
売上高	20,807,045	23,469,480
売上原価	15,555,356	16,900,837
売上総利益	5,251,689	6,568,643
販売費及び一般管理費	3,427,460	3,830,336
営業利益	1,824,228	2,738,306
営業外収益	51,952	61,415
営業外費用	41,455	66,490
経常利益	1,834,724	2,733,232
税金等調整前当期純利益	1,834,724	2,733,232
法人税、住民税及び事業税	599,794	834,549
法人税等調整額	△61,006	△69,696
当期純利益	1,295,937	1,968,379
非支配株主に帰属する当期純損益	△1,188	△1,170
親会社株主に帰属する当期純利益	1,297,125	1,969,549

連結株主資本等変動計算書

第62期 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,752,040	750,178	4,742,827	△351,852	6,893,193	161,028	△57,480	103,547	△4,880	6,991,860
当期変動額										
剰余金の配当			△401,896		△401,896					△401,896
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,969,549		1,969,549					1,969,549
自己株式の取得				△93	△93					△93
自己株式の処分				15,090	15,090					15,090
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						△18,822	68,078	49,256	△1,170	48,085
当期変動額合計	—	—	1,567,653	14,996	1,582,650	△18,822	68,078	49,256	△1,170	1,630,736
当期末残高	1,752,040	750,178	6,310,481	△336,856	8,475,843	142,206	10,597	152,803	△6,050	8,622,596

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第61期 2024年3月31日現在	第62期 2025年3月31日現在
◇資産の部		
流動資産	10,159,104	9,918,711
固定資産	6,131,918	6,246,266
有形固定資産	5,019,132	5,083,100
無形固定資産	120,988	118,573
投資その他の資産	991,796	1,044,591
資産合計	16,291,022	16,164,977
◇負債の部		
流動負債	8,535,452	6,860,158
固定負債	1,209,788	1,108,673
負債合計	9,745,240	7,968,831
◇純資産の部		
株主資本	6,384,754	8,053,939
評価・換算差額等	161,028	142,206
純資産合計	6,545,782	8,196,146
負債・純資産合計	16,291,022	16,164,977

損益計算書

(単位：千円)

科 目	第61期 2023年4月1日～ 2024年3月31日	第62期 2024年4月1日～ 2025年3月31日
売上高	18,175,510	20,838,818
売上原価	13,478,011	14,929,631
売上総利益	4,697,498	5,909,186
販売費及び一般管理費	2,762,849	3,084,663
営業利益	1,934,649	2,824,523
営業外収益	48,218	57,565
営業外費用	38,267	61,186
経常利益	1,944,600	2,820,902
税引前当期純利益	1,944,600	2,820,902
法人税、住民税及び事業税	598,909	833,651
法人税等調整額	△62,554	△68,834
当期純利益	1,408,245	2,056,085

株主資本等変動計算書

第62期 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本									評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	1,752,040	142,286	607,891	750,178	72,269	4,162,118	4,234,388	△351,852	6,384,754	161,028	6,545,782
当期変動額											
剰余金の配当					40,189	△442,085	△401,896		△401,896		△401,896
当期純利益						2,056,085	2,056,085		2,056,085		2,056,085
自己株式の取得								△93	△93		△93
自己株式の処分								15,090	15,090		15,090
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）										△18,822	△18,822
当期変動額合計	－	－	－	－	40,189	1,613,999	1,654,189	14,996	1,669,185	△18,822	1,650,363
当期末残高	1,752,040	142,286	607,891	750,178	112,459	5,776,118	5,888,577	△336,856	8,053,939	142,206	8,196,146

Corporate Profile

会社の概要 (2025年6月24日現在)

概 要

商 号 株式会社ヤマックス
本 社 所 在 地 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号
設 立 年 月 日 1963年10月10日
資 本 金 17億5,204万円
従 業 員 数 536名 (2025年3月31日現在)

役 員

代表取締役会長 茂 森 潔
代表取締役社長 茂 森 拓
取締役副社長 森 将彦
常 務 取 締 役 渡 辺 宏之介
取 締 役 浦 崎 啓
取 締 役 木 山 伸 悟
取 締 役 森 田 芳 文

社 外 取 締 役 津 留 清
社 外 監 査 役 松 山 隆 文
社 外 監 査 役 中 島 邦 介
社 外 監 査 役 井 上 勉

沿 革

1963年 10月 長崎県島原市にヤマウコンクリート工業株式会社を設立、各種コンクリート二次製品の設計・製造及び販売に関する事業を開始
1964年 2月 長崎県南高来郡（現：雲仙市）国見町に島原工場を新設
1967年 8月 熊本県下益城郡（現：宇城市）松橋町に松橋工場を新設
11月 長崎県南高来郡（現：雲仙市）国見町に本社を移転
1968年 11月 熊本県山鹿市に株式会社ヤマウ工業本社工場を新設
1973年 9月 熊本県下益城郡（現：宇城市）小川町に小川工場を新設
1974年 3月 熊本県荒尾市に有限会社荒尾コンクリート工業本社工場を新設
1979年 7月 埼玉県羽生市にヤマウハウス株式会社埼玉工場を新設
1981年 8月 長崎県北松浦郡（現：佐世保市）吉井町に佐世保工場を新設
1989年 1月 熊本県玉名郡長洲町に長洲工場を新設
1990年 7月 熊本県熊本市に本社を移転
1991年 9月 株式会社ヤマウ工業、ヤマウハウス株式会社、荒尾コンクリート工業株式会社（旧：有限会社荒尾コンクリート工業）及び小倉建材工業株式会社の4社を吸収合併し、株式会社ヤマックスに商号変更
1993年 10月 福岡県山門郡（現：みやま市）瀬高町に瀬高工場を新設
1995年 11月 日本証券業協会に株式を店頭登録
1997年 11月 株式会社ミナト建材（連結子会社）を設立
2004年 12月 日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場
2006年 5月 株式会社福岡ヤマックス（現：連結子会社）を設立
2010年 4月 ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所JASDAQ市場に株式を上場
2011年 8月 熊本県球磨郡相良村に人吉工場を新設
2012年 3月 利根ジオテック株式会社（現：株式会社東北ヤマックス、連結子会社）の株式取得
9月 茂森興産株式会社（連結子会社）を吸収合併
2013年 4月 H.O.C株式会社（長崎県大村市）との共同出資にて、長崎県佐世保市に株式会社HOCヤマックス（関連会社）を設立
7月 東京証券取引所と大阪証券取引所の統合に伴い、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に株式を上場
2014年 4月 株式会社ミナト建材（連結子会社）を吸収合併
2020年 4月 株式会社HOCヤマックスを連結子会社化
2022年 4月 東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所の市場JASDAQからスタンダード市場に移行



松橋工場



小川工場



長洲工場



瀬高工場

株式の状況

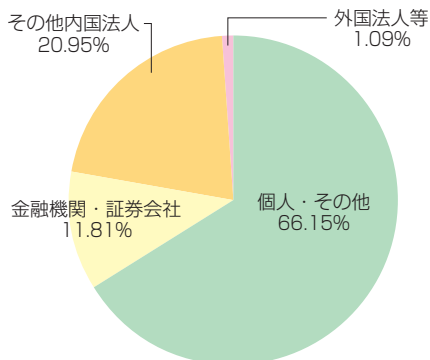
発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式の総数	11,580,000株
株主数	5,107名

大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数（株）	持株比率（%）
茂森 潔	762,000	7.58
株式会社 麻生	687,400	6.84
茂森 拓	411,000	4.09
伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社	400,000	3.98
UBE三菱セメント株式会社	370,000	3.68
株式会社日本カストディ銀行（信託E口）	354,100	3.52
株式会社 南日本銀行	240,000	2.38
江田 幸雄	230,200	2.29
共和コンクリート工業株式会社	220,000	2.18
ヤマックス従業員持株会	203,020	2.02

（注）上記のほか、自己株式が1,532,675株あり、持株比率はこれを控除して計算しております。

所有者別株式分布状況（株式数ベース）



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
公示方法	電子公告（ https://www.yamax.co.jp/ ） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株主様に対する特典	工場見学会（毎年1回）

お問い合わせ先

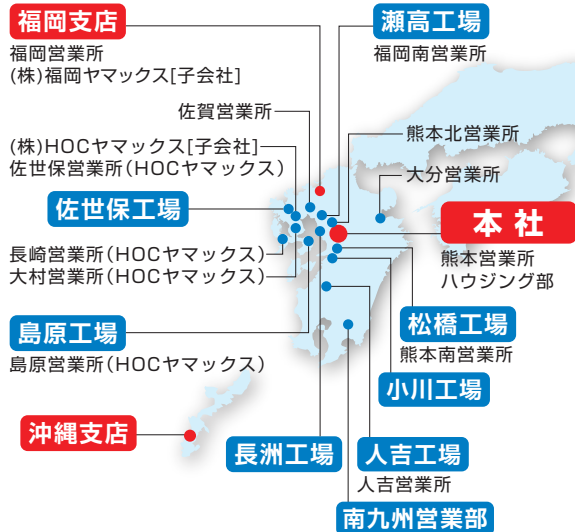
	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合（特別口座の場合）
住所変更、株式配当金受取り方法の変更及びマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ： https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	フリーダイヤル： 0120-288-324 （土・祝日を除く 9:00～17:00） 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 （土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
株主総会資料の電子提供制度（書面交付請求）についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取、買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

ヤマックスグループネットワーク

ヤマックスグループはコンクリート二次製品の総合メーカーとして、自社で製品設計を行い、日本工業規格認可の自社工場で厳しい製品管理と品質管理を経た最高水準のコンクリート二次製品を製造し、日本全国へ供給しています。



(東北ヤマックス 本社・一関工場)



(本社ビル)



(東京支店)



(福岡支店)

(株)ヤマックス

〈本 社〉	〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号	TEL 096-381-6411
〈支 店〉	東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川2丁目9番6号シュテルン中央ビル4F	TEL 03-6858-3751
	福岡支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目18番7号博多電気ビル1F	TEL 092-473-2600
	沖縄支店 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜5丁目3番7号	TEL 098-890-1700
〈営業所〉	熊本営業所 〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号	TEL 096-381-1311
	熊本南営業所 〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1392番地	TEL 0964-33-1058
	熊本北営業所 〒861-0522 熊本県山鹿市久原2565番地1	TEL 0968-43-4195
	人吉営業所 〒868-0095 熊本県球磨郡相良村柳瀬822番地40	TEL 0966-34-2032
	福岡営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目18番7号博多電気ビル1F	TEL 092-473-2605
	福岡南営業所 〒835-0016 福岡県みやま市瀬高町濱田338番地1	TEL 0944-62-5555
	佐賀営業所 〒840-0806 佐賀県佐賀市神園4丁目7番16号1F西側	TEL 0952-32-2151
	大分営業所 〒870-0942 大分県大分市大字羽田75番地40	TEL 097-500-8840
	南九州営業部 〒885-0044 宮崎県都城市安久町5043番地1	TEL 0986-80-4000
〈工 場〉	松橋工場 〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1392番地	TEL 0964-33-1058
	人吉工場 〒868-0095 熊本県球磨郡相良村柳瀬822番地40	TEL 0966-34-2032
	長洲工場 〒869-0111 熊本県玉名郡長洲町名石浜1番地	TEL 0968-78-3181
	小川工場 〒869-0606 熊本県宇城市小川町河江1212番地	TEL 0964-43-1131
	瀬高工場 〒835-0016 福岡県みやま市瀬高町濱田338番地1	TEL 0944-62-5555
	島原工場 〒859-1311 長崎県雲仙市国見町土黒甲394番地1	TEL 0957-78-2131
	佐世保工場 〒859-6311 長崎県佐世保市吉井町橋川内1000番2	TEL 0956-64-4111
	埼玉工場 〒348-0004 埼玉県羽生市弥勒1136番地1	TEL 048-565-3621
〈ハウジング部〉	〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号	TEL 096-340-8840

(株)東北ヤマックス

〈本 社〉	〒021-0852 岩手県一関市字沢160番地	TEL 0191-23-1180
〈支 店〉	仙台支店 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3丁目4番16号	TEL 022-207-4840
〈営業所〉	一関営業所 〒021-0852 岩手県一関市字沢160番地	TEL 0191-23-2305
〈工 場〉	一関工場 〒021-0852 岩手県一関市字沢160番地	TEL 0191-23-1180

(株)福岡ヤマックス

〈本 社〉	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目18番7号博多電気ビル1F	TEL 092-473-2755
-------	---	------------------

(株)HOCヤマックス

〈本 社〉	〒858-0907 長崎県佐世保市棚方町221番地2	TEL 0956-59-7791
〈営業所〉	佐世保営業所 〒858-0907 長崎県佐世保市棚方町221番地2	TEL 0956-59-7791
	長崎営業所 〒852-8117 長崎県長崎市平野町1番34号ロイヤルハイツセントポール1F	TEL 095-842-5215
	大村営業所 〒856-0835 長崎県大村市久原町2丁目1533番地2	TEL 0957-46-9999
	島原営業所 〒859-1311 長崎県雲仙市国見町土黒甲394番地1	TEL 0957-78-2133

暮らしのどこかに



あなたの暮らしに。あなたのそばに。



<https://www.yamax.co.jp/>